

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	理科・生物基礎研究	学年	3学年	教科書	
		単位数	3単位	副教材	数研出版「生物基礎」 数研出版「新課程リードLightノート生物基礎」

学習目標	1 生命の多様性を理解し、細胞・個体・生態系という階層性の中から法則性を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見出していく。 2 実験の目的、仮説、準備、方法、結果、考察という人に従ったレポートを作成する能力を育てる。 3 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。
------	--

学習方法	●授業においては、基本事項の習得をめざし、課題について自ら考え、調べる姿勢を身につける。 ●ノートは、家庭学習で教科書のみでなく、資料、参考書も使った十分な考察をもとめる。
------	---

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	①	関心・意欲・態度	生命現象に興味をもち、基本事項を身近な生物やヒト自身に当てはめてとらえる。
	②	思考・判断・表現	基本知識を総合して、現実の生命現象を総体的にとらえる。 数値をあつかい、定量的な理解も養う。
	③	観察・実験の技能	観察、実体験を客観化し、記録することができる。 適当な術語を使って事象を表現できる。
	④	知識・理解	観察、実体験によってとらえた事象を、思考判断しうる十分な知識理解を求める。
	⑤		

評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③観察・実験の技能	④知識・理解	⑤
授業への取り組み	◎		○		
定期試験		◎		◎	
実験	◎	◎	◎		
課題	○		○	○	
観点別比重	15%	15%	20%	50%	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	4章 植生の多様性と分布	24	・さまざまな植生 ・植生の遷移 ・気候とバイオーム	植生の成り立ち さまざまな植生(森林、草原、荒原) 植生の遷移 遷移の過程 遷移のしくみ	①実験実習に積極的に取り組んだか。スケッチを含めレポートが充実している。 ②実験実習の考察が十分できる。 ③顕微鏡操作を正確に行える。 スケッチが正確にできる。 レポートの文章表現が正確にできる。 ④生命体が細胞にできていること、酵素、葉緑体、ミトコンドリアの役割を理解できる。	実験・実習 レポート 演習 小テスト 定期試験
	5章 生態系とその保全			15		
2	5章 生態系とその保全	14	・物質循環とエネルギーの流れ ・生態系のバランス	炭素の循環とエネルギーの流れ 窒素の循環 生態系のバランス	①生態系の今日的な問題を理解できる。 ②身近な自然を観察し、生態系の観点から整理しようとしてできる。 ③生態系にかかわる諸問題を、社会的な状況とあわせて理解できる。	実験・実習 レポート 演習 小テスト 定期試験
				外来生物の移入 森林の過度の伐採 生物濃縮 生態系の保全		
		25	補足 生物群集と生態系	個体群 個体群の中の個体関係 異種個体群間関係	①個体群という考え方を理解できる。 ②個体、個体群どうしの関係性のうえに、生物の生活がなりたっていることを理解できる。	実験・実習 レポート 演習 小テスト 定期試験

3	総復習、演習	27	第1章～第5章	体内環境 代謝	①臓器、神経、ホルモン、免疫など、自分自身の生命現象として実感をもって理解できる。 ②エネルギーと代謝を生命活動の本質として理解し、定着している。	実験・実習 レポート 定期試験
				酸素解離曲線 バイオーム 濃縮率 二次応答など	①基礎的な知識を完全に把握している。 ②グラフ、データなどから適確な結論を導ける。	実験・実習 レポート 演習 小テスト 定期試験
合計時数(50分授業)		105				